

学会報告

- 1 第7回研究大会が2006年5月20日（土）・21日（日）に愛知大学車道校舎において開催された。今回大会では21世紀COEプログラム愛知大学国際中国学研究センター（ICCS）経済研究会との共催、東海日中貿易センター及び愛知大学同窓会の後援により、公開シンポジウムを開催し、多数の外部参加者を迎えた。

5月20日（土） 公開シンポジウム 13:30-17:00, 3階コンベンションホール

統一テーマ「中国企業の海外進出と国際経営」

司会 李 春利（愛知大学）

第1報告：後藤康浩（日本経済新聞社）「壁に直面する中国企業と海外進出の背景」

第2報告：吉原英樹（南山大学）「国際経営50年の歴史－日本の特異性から世界共通性へ－」

第3報告：朱炎（富士通総研）「中国企業の「走出去」戦略及び海外進出の現状と課題」

第4報告：中川涼司（立命館大学）「聯想のIBM PC事業部買収の意義と課題について」

5月21日（日） 自由論題報告 9:20-12:30

第1分科会「中国企業の改革と競争力」司会 山本恒人（大阪経済大学）9階 K902 教室

第1報告：劉超（麗澤大学院生）「中国企業の競争力についての分析」

討論者：田中武憲（名城大学）

第2報告：楊秋麗（立命館大学院生）「中国「東北振興戦略」における吉林省国有企业改革の現状」

討論者：中屋信彦（名古屋大学）

第3報告：肖威（関西国際大学）「中国自動車上場企業の経営分析－上海汽車と長安汽車について」

討論者：丸川知雄（東京大学）

第2分科会「企業の経営戦略」司会 杉田俊明（甲南大学）9階 K903 教室

第1報告：高橋宏幸（京都大学院生）「サントリーはなぜ上海市場で成功したか」

討論者：岡田広司（名古屋市立大学）

第2報告：華金玲（慶応大学院生）「中国通信インフラ整備における固定資産投資の空間的集積性」

討論者：伊藤正一（関西学院大学）

第3報告：劉曉慧（愛知大学 ICCS）「提携と企業環境の創造—唐山松下を事例として—」

討論者：青木俊一郎（東海日中経済貿易センター）

第4報告：古田秋太郎（中京大学）「中国市場販売における日系企業の戦略と戦術」

討論者：黄磷（神戸大学）

会員総会

2 第7回秋季研究集会が2006年9月23日（土）に国士舘大学世田谷キャンパスにおいて、以下の内容で開催され、活発な討論が展開された。

<自由論題>

第1報告「キャッチアップ工業化と中国液晶産業の発展」（湯進・専修大学大学院）

討論者：中川涼司（立命館大学）

第2報告「中国の決済システム」（陳玉雄・麗澤大学経済社会総合研究センター）

討論者：大久保勲（福山大学）

<共通論題> 司会：丸山伸郎（拓殖大学）

第3報告「中国の対アフリカ外交と企業進出—特にエネルギー分野」（須藤繁・[財]国際開発センター）

討論者：黄磷（神戸大学）

第4報告「中国の石油エネルギー戦略および三大石油メジャー」（郭四志・[財]日本エネルギー経済研究所）

討論者：横井陽一（[社]中国研究所）

第7回研究大会の報告ペーパー（または報告レジュメ）は、学会ホームページ <http://rio.andrew.ac.jp/cms/> に掲載されています。